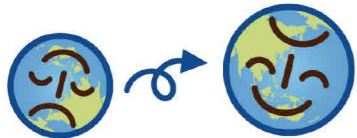


全ての人にスマイルを。



この泣き顔のマークを逆さまにすると、笑顔になります！
私は、泣いている地球の人々を、笑顔にする政治を目指しています。



私の家族です

ふじた ゆきひさ
藤田 幸久

1950年生まれ。
茨大附属中、水戸一高、慶応大学卒。
初の国際NGO出身政治家。52か国を訪問。
衆議院議員二期・参議院議員二期。
財務副大臣として東関東自動車道水戸線や鹿行大橋などの復興予算を策定。
民主党国際局長、横浜国立大非常勤講師、茨城県倫理法人会顧問、等を歴任。
現在 立憲民主党茨城県第二区総支部長。鹿島ライオンズクラブ会員 鉾田市在住

茨城県第2選挙区



これまでのあゆみ



枝野幸男代表、小沼巧参議院議員と台風19号の被災者を激励。



中学時代茨城県大会で準優勝。国会議員サッカーチームメンバー。



難民を助ける会の創設メンバー。カンボジア身障者難民に日本の身障者からの車いすを届ける。



コロナによる非正規社員や派遣切りへの対応が急務。



フィンランドの世界唯一の核廃棄物最終処分施設を視察。原発から再生エネルギーへの転換は世界の流れ。



世界宗教者平和会議で宗教間の和解活動を支援。庭野日鏡会長、植松誠理事長、日本宗教連盟岡田光央理事長と。



JA水戸の総代会で野党国会議員代表で挨拶。種子法廃止法案を撤廃する法案提出を報告。



沖縄県議会の超党派訪米団を中満泉軍縮担当国連事務次長に紹介。アポ取りや通訳も担当。



茨城県商工会連合会総会。同族企業の株の評価の見直しの実現を報告。



幡谷祐一前後援会長による色紙。この「久幸田藤」を目指して精進中です。



ポスター設置のお願い
皆様のご協力で1500枚を設置しました。
ご自宅、会社、農地、駐車場、空き地など設置場所をご紹介ください。

RIKKEN MINSHU
号外

2021年3月1日号

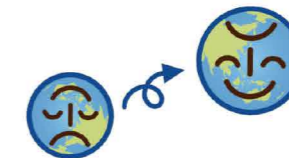
立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区平河町
2-12-4 ふじビル3F
Tel. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302
goiken@cdp-japan.net
http://cdp-japan.jp/

立憲民主
The Constitutional Democratic Party of Japan

立憲民主党衆議院茨城県第2区総支部長
(元財務副大臣、前参議院議員)

ふじた幸久

命と生活を守り、鹿行と県央を元気に



コロナを平定し、お役に立つ衆議院議員に

コロナウィルスは、日本の根本問題をあぶり出しました。日本の政治や行政が、国民の命と生活を守ることを第一としていないことです。先ず政治の浄化が必要です。日本の信頼を喪失した森喜朗元首相、金を濫用した安倍晋三前首相や河井克行元法務大臣夫妻、金を受け取った吉川貴盛元農水大臣などです。

第二に、東京だけに人もお金もコロナも集中する一方で、地方が疲弊しています。お米の種、金融機関のマナー、大企業の株などが外国に「日本売り」される一方で、庶民が貧しくなる格差をコロナが拡大しました。

藤田幸久総支部長は、来るべき総選挙において、立憲民主党茨城県連の中村喜四郎、郡司彰、青山大人、小沼巧の4人の国会議員と梶岡博樹候補とともに闘って参ります。また浅野哲議員と福島伸享候補も支援して参ります。

そして、「命を守り、人を幸せにする政治」を実現して、衆議院議員として鹿行と県央を元気にしたいとの決意です。



立憲民主党茨城県連結成大会



「戦いの神」鹿島神宮でコロナ平定を祈念。鹿島則良宮司と。



笠間稲荷でコロナ収束を祈願。塙東男宮司から必勝のお札を拝受。

《事務所》

●鹿行事務所 〒314-0031 鹿嶋市宮中 5265-2
TEL 0299-94-6462 / FAX 0299-94-6463
●県央連絡事務所 〒309-1722 笠間市平町1835-1
E-Mail. info@y-fujita.com / 携帯 090-8777-5190

facebook



twitter



メルマガ



https://y-fujita.com

鹿行・県央のチャンス 新しい「農工両全」と医療支援

コロナから命と生活を守る活動を行ってきました。
また、コロナ以前から鹿行・県央地域のインフラ整備を支援してきました。
これらを、鹿行・県央地域を元気にするチャンスに生かしてまいります。

命を生活を守る「農工両全」

コロナや災害時の食の確保が国の最重要課題。茨城農業のブランド化により首都圏の食を確保。日本医師会他のマスク、防護服、検査機器、医薬品の国産化と緊急備蓄のための「医療・防災」産業の創生と供給体制を支援。岩上二郎元知事による鹿行開発の理念「農工両全」を、命と生活を守る「農工両全」に進化。

医療・介護支援による地域再生

「仕事さえあれば茨城に戻りたい・移住したい」という東京在住者や、テレワークの拠点を求める企業が増加中。コロナと闘う医療・介護関係者の待遇改善による雇用創出と出生率向上。定住支援助成金や新規就農支援による人口増政策。新産業の創出を目指す。

霞ヶ浦、北浦、涸沼、鹿島灘の「水」と歴史と食のツーリズム

鹿島神宮、水郷、神栖の産業ツーリズム、鹿島灘の海洋スポーツ、なめがたファーマーズビレッジ、大場家屋敷、茨城空港、大洗水族館、笠間の陶芸村などの陸海空をつなぐ歴史と食のツーリズムの推進。地域全体の共通戦略と魅力度アップ戦略策定。



鉾田市の無農薬、化学肥料無しの米作りに飛び入り参加。



新産業の創出を目指す。

これまでの茨城2区などでのあゆみ

財務副大臣として



東関東水戸線鉾田インター開通式
左端が大井川茨城県知事



県道大洗友部線神山バイパス開通式



水鳥・湿地センター完成予想図

東日本大震災後の県内各地の市庁舎の建設、農林水産業、商店街、中小企業、ホテルなどの支援予算を策定。新鹿行大橋建設、東関東自動車道水戸線、鹿嶋港重要港湾指定などの予算も策定。2019年には、環境省と交渉して、涸沼の水鳥・湿地センター建設（茨城町、鉾田市）を実現。

茨城空港に春秋航空を誘致

茨城空港への中国、春秋航空乗り入れを中国の航空局長、北澤防衛大臣、前原国交大臣に陳情して実現。



北澤防衛大臣と橋本茨城県知事、島田小美玉市長



海外犯罪被害者支給法実現

海外犯罪被害者弔慰金支給法を議員立法で成立。ゴムで殺害された潮来市の横田仁志さんの妻や原浩道潮来市長の要望を実現。

日本農業実践学園90周年記念式典

加藤完治氏が、「農業は精神鍛錬の場である、大和魂とは他人に親切を施す心である」との理念で水戸市内原町で創業。



加藤達人理事長（右端）と

新型コロナウイルスの支援活動

01 茨城2区の市長・町長全員の取り組みを支援

コロナウイルス対策で茨城2区の市長・町長の全員、医療・介護施設、農協、商工会等を訪問し、家計や事業継続を支援。



鉾田市 岸田市長



大洗町 小谷町長



神栖市 石田市長



水戸市 高橋市長



笠間市 山口市長



茨城町 小林町長



鹿嶋市 錦織市長



小美玉市 島田市長



潮来市 原市長、行方市 鈴木市長（財務省岡本総括審議官と）

02 日本医師会他との連携による医療資器材の国産化

日本総合研究所と日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会などによるマスク、防護服、検査機器、医薬品の国産化と緊急備蓄のために「医療・防災」産業の創生と供給体制を支援。



中川俊男日本医師会会長（中央左）と寺島実郎日本総合研究所会長（中央右）

03 医療・介護従事者支援

鹿島医師会（松倉則夫会長）と水戸医師会（原毅会長）に医療用ガウンを調達。茨城県初の鹿島スタジアムでのPCR検査でも活躍。



鹿島医師会松倉則夫会長



水戸医師会原毅会長



鹿島スタジアムでのPCR検査

04 一目でわかる家計・事業支援

立憲民主党「新型コロナ肺炎対策特集・号外」（相談業務や支援策の見取り図）を配布。新聞折り込みも行う。一覧表は他になく、銀行や税理士なども活用。

